

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公表特許公報(A)

(11)特許出願公表番号

特表平9-506350

(43)公表日 平成9年(1997)6月24日

(51)Int.Cl. ⁸	識別記号	庁内整理番号	FI	
C 0 7 D 231/12		7019-4C	C 0 7 D 231/12	C
A 6 1 K 31/415	AAH		A 6 1 K 31/415	AAH
	ABE	9454-4C		ABE
	ABG			ABG
31/44		9454-4C	31/44	
審査請求 未請求 予備審査請求 有 (全336頁) 最終頁に続く				

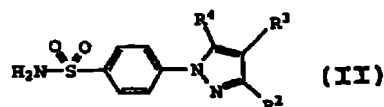
(21)出願番号 特願平7-515611
 (86)(22)出願日 平成6年(1994)11月14日
 (85)翻訳文提出日 平成8年(1996)5月29日
 (86)国際出願番号 PCT/US94/12720
 (87)国際公開番号 WO95/15316
 (87)国際公開日 平成7年(1995)6月8日
 (31)優先権主張番号 08/160,594
 (32)優先日 1993年11月30日
 (33)優先権主張国 米国(US)
 (31)優先権主張番号 08/223,629
 (32)優先日 1994年4月6日
 (33)優先権主張国 米国(US)

(71)出願人 ジー・ディー・サール アンド カンパニ
 ー
 アメリカ合衆国60680-5110 イリノイ州,
 シカゴ, (番地なし) ビー・オー・ボック
 ス 5110 コーポレート パテント デバ
 ーメント
 (72)発明者 タリー, ジョン ジェイ.
 アメリカ合衆国 63144 ミズーリ州ブレ
 ントウッド, バイン アベニュー 8772
 (72)発明者 ベンニング, トーマス ディー.
 アメリカ合衆国 60126 イリノイ州エル
 ムハースト, ラーチ 374
 (74)代理人 弁理士 浅村 皓 (外3名)
 最終頁に続く

(54)【発明の名称】 炎症の治療のための置換ピラゾリルベンゼンスルホンアミド

(57)【要約】

炎症および炎症関連疾患の治療のための、あるクラスの
 ピラゾールベンゼンスルホンアミド化合物が記載され
 る。特に興味のある化合物は、式II:



【式中、R¹は、ヒドリド、アルキル、ハロアルキル、
 アルコキシカルボニル、シアノ、シアノアルキル、カル
 ボキシル、アミノカルボニル、アルキルアミノカルボニ
 ル、シクロアルキルアミノカルボニル、アリールアミノ
 カルボニル、カルボキシアルキルアミノカルボニル、カル
 ボキシアルキル、アラルコキシカルボニルアルキルア
 ミノカルボニル、アミノカルボニルアルキル、アルコキ
 シカルボニルシアノアルケニルおよびヒドロキシアルキ
 ルより選択され；R²は、ヒドリド、アルキル、シア
 ノ、ヒドロキシアルキル、シクロアルキル、アルキルス
 ルホニルおよびハロより選択され；そしてR³は、アラ
 ルケニル、アリール、シクロアルキル、シクロアルケニ

ルおよび複素環より選択され、ここでR⁴は、置換可能
 な位置でハロ、アルキルチオ、アルキルスルホニル、シ
 アノ、ニトロ、ハロアルキル、アルキル、ヒドロキシ
 ル、アルケニル、ヒドロキシアルキル、カルボキシル、
 シクロアルキル、アルキルアミノ、ジアルキルアミノ、
 アルコキシカルボニル、アミノカルボニル、アルコキ
 シ、ハロアルコキシ、スルファミル、複素環およびアミ
 ノより選択される1つまたはそれ以上の基により随時置
 換されている(但し、R²およびR³は、両方がヒドリド
 ではなく；さらに但し、R²がヒドリドであり、かつR⁴
 がフェニルである時、R²は、カルボキシルまたはメチ
 ルではなく；さらに但し、R²がメチルである時、R⁴
 は、トリアゾリルではなく；さらに但し、R²がカルボ
 キシル、アミノカルボニルまたはエトキシカルボニルで
 ある時、R⁴は、アラルケニルではなく；さらに但し、
 R²がメチルであり、かつR³がカルボキシルである時、
 R⁴は、フェニルではなく；そしてさらに但し、R²がト
 リフルオロメチルである時、R⁴は、非置換チエニルで
 はない)】により定義されるか、またはその薬理的に
 許容される塩である。

THIS PAGE BLANK (USPTO)